

## 清々しい汗を、125人で！

## ●浦高百年の森／下刈作業

今日23日(土)は寄居町風布で、平成23年「浦高百年の森」下刈作業でした。迷走した台風6号の影響が心配でしたが、北の冷たい高気圧からの風のため朝は長袖を羽織ってちょうどよい状態で7時に家を出ました。

春日部からは鳥井隆一郎副会長(11期)をはじめ4人で現地に向かい、波久礼駅から1時間強歩いて参加の石塚善幸さん(13期)、浦和から参加の石田智己さん(16期)とも現地で合流しました。

午前10時、小島正徳事務局長の発声で開会式が始まり、小室正人副会長兼森委員長の挨拶。

「皆さん、おはようございます。今日は草刈にはちょうどよい天気になりました。この百年の森づくりも6年目に入り、本来の森に少しずつ近づいてきました。今日は125人の参加とのこと。2年目に入った麗風会(浦和一女同窓会)の皆さんもしっかりと草刈を頑張ってください。」



【写真①：山荘前での開会式風景、女性は一女麗風会】

続いて麗風会の清水京子副委員長の挨拶のあと、10時30分から作業開始となりました。私は、第3班で12人の皆さんと一緒に南側斜面の草刈を担当しました。【写真②：作業前のジャングル】



大鎌でぱっさぱっさと植



樹した木々に絡みついた葛などの雑草を取り除いて行きます。タラは残しました。【写真③：作業風景】



12時前に作業を休止して山荘前に戻ると、川野幸夫会長から差し入れていただいたトマト、キュウリ、スイカが冷やされていました。キュウリに

は寄居産の味噌をつけてガブリ。冷え冷えの野菜と味噌がとても美味しかったですねえ。【写真上④：冷えたトマトとスイカ、写真右⑤：味噌をつけて丸かじり】

4個のお結びと500mlのお茶をぺろりと…、約50分の昼休みをとって午後の仕事に戻りました。



【写真⑥：春日部地区浦高会のメンバー6人で記念撮影】



午後2時、作業を終えると、木々の幹も見通せる状況になりました【写真⑦】。

閉会式後に全員で記念撮影【写真⑧】。



小川町営の温泉で汗を流してから帰宅しました。